2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	成人看護学実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	夜久泰子	実務経験とその関連資格	関西医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院　計8年勤務			

《授業科目における学習内容》

人生最期のときにある対象に対して、心身の安楽に向けての援助を実践する。

《成績評価の方法と基準》

実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 時間数	2023年　5月8日～10月12日 合計90時間
実習の目的	人生最期のときにある対象の特徴を理解することを通して自己の死生観を考えることができる。 人生最期のときにある対象に必要な援助を実践できる。
実習の内容	1)対象の病態生理・治療・合併症を知る。 2)対象の発達段階、健康障害などを含めた意図的な情報収集をする。 3)対象の身体的・精神的・社会的・霊的・苦痛(トータルペイン)について考える。 4)対象及び家族のQOLについて知る。 5)対象・家族への関わりを通して自己の死生観を考える。 6)対象の安全・治療・苦痛症状に基づいた適切な看護計画を実践する。 7)対象を取り巻く多職種の役割、看護師の役割について考える。 8)対象や家族に必要な社会資源について考える。